



土曜日開催により若い世代や遠くからの来場者も増えました

笑いあふれるひととき  
コロナに負けるな  
爆笑落語四人会2022



三遊亭遊雀さん



三遊亭遊子さん



古今亭今輔さん

6月25日、国際交流センターで「爆笑落語四人会2022」が開かれ、この日を楽しみにしていた約270人の皆さんが、本場の落語を堪能しました。  
三遊亭遊子さんの楽しい踊りや三遊亭遊雀さんの円熟の語り、また才気あふれる古今亭今輔さんの落語を楽しみました。ト리는二年前に登場の桂竹丸さん。余裕の高座で会場は笑いの渦に巻き込まれていました。



桂 竹丸さん

### 寺山不法投棄回収と純大通り植込み清掃作業

6月24日、環境衛生部は寺山登山道沿いの不法投棄物回収と、シバザクラが植えられている純大通りの草取りを行いました。部員、地区コミ役員と地元碓山自治会の有志など総勢17人で手分けしての作業でした。不法投棄物は軽トラ2台にいっぱいになりました。



家電も続々出てきます



喫緊の課題に取り組んでいきます

### 第1回運営委員会を開催

6月29日、第1回地区コミュニティ協議会運営委員会が開かれました。

本年度平佐西地区コミで取り組む4つの主要事業（平佐焼窯跡保存、川内川河川敷活用、高齢者健康維持活動、自治活動へのICT技術の活用）などの説明と新役員の紹介がありました。

### はんとけん体操拡大推進委員会開く

7月12日、推進員や世話役など27名が集まり、コロナ禍での活動報告や今年度の活動方針について協議しました。今後体操の意義と効果を知るため、体力測定と訪問指導に取り組んでいきます。地区内の参加者は増加傾向で、平佐西地区以外でも始まっており、互いに連携、交流しながら拡大を図ることにしています。



毎週14会場、230人の人が体操をしています

ユカりんの



### その24 里見弴と「慈眼観」

こんにちは！地域おこし協力隊の松元です。

平佐西小学校の校門近くに「慈眼観」と刻まれた石碑があります。



これは、前回紹介した有島武の四男である作家、里見弴（さとみとん）の書をもとに作られたものです。「慈眼観」という言葉は、「慈しみの眼で観る」ことを表していて、誰に対しても、どんな物にも優しい気持ちで接していくことの大切さを表しています。

里見弴は本名を山内英夫といい、母方の姓を継いでいます。里見弴というペンネームは、小説家になることを反対した父親の目をくらすために、電話帳から拝借したものを名前としたというエピソードがあります。

代表作に「極楽とんぼ」「安城家の兄弟」などがあり、白樺派の作家として活動しました。1969年（昭和44年）には平佐西小学校などで講演を行うなど、深い交流がありました。

（参考：川内まごころ文学館展示）

### 3年ぶりに心の教育推進委員会

6月23日、西小で3年ぶりに「心の教育推進委員会」が開催されました。

参加者は、自治会長や民生委員、PTA役員、コミ協役員等。学校側から、学校運営や教育方針、児童の学校生活の報告があり、また、自治会長等から登下校時の交通マナーや日常生活について意見や要望が出されました。学校と保護者そして地域の3者が、それぞれの立場から情報交換する絶好の機会となりました。



### 第1回役員選考委員会、開かれる

7月7日、第1回役員選考委員会が開かれ、今年度の選考委員三役が下記の通り決まりました。

委員長	下水流 隆氏
副委員長	吉田美穂子氏
書記	黒木 久光氏